

アル・アクサ洪水第620日目：大規模なイランの攻撃 | イスラエルのドローンが撃墜される | ネツァリム近郊の援助物資輸送路での虐殺事件

Palestine Cronicle, 2025年6月18日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



イランのミサイルにより、イスラエル中心部で火災が発生した。(Photo: video grab)

主要事項

* トランプ米大統領がイランの無条件「降伏」を要求した数時間後、数十発のイラン・ミサイルがイスラエルに向けて発射され、何発かがイスラエルの各地を直撃した。

* イスラエルのガザ虐殺が継続、特に飢餓を逃れようと援助物資を求めるパレスチナ人の犠牲者が増大している。

* ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降、イスラエルは55,493人のパレスチナ人を殺害し、129,320人を負傷させた。その多くは女性と子どもである。

最新情報

6月18日 11:50 pm (パレスチナ時間)

* トランプ：イランは我々米国と話し合いを望んでいる。ひょっとしたら会談をするかもしれない。私には考えがあり、シチュエーションルーム¹で協議する。この戦争はイスラエルの勝ちである。私はイランに関して最終決定をしていない。最後には決定する。

¹ ホワイトハウスの地下にある危機管理室。

*イスラエル・メディア：救急隊が、イランのミサイル攻撃から4日後の今日、バト・ヤム市へ行って瓦礫の下の行方不明者の捜索をした。法医学専門家は、行方不明者のうち一人がまだ見つかっていないと言った。

*チャンネル12：今日、イスラエル国会議員たちにイラン筋から脅迫電話があったという。

*イラン国連ミッション：安保理はイスラエルの脅威を非難し、中東地域がさらに不安定化する前に安保理として行動すべきだ。イラン政府高官はこれまで誰一人としてホワイトハウスの門で頭を下げたことはない。

*チャンネル12：イランのミサイル攻撃で住宅を破壊された2000世帯がホームレスとなって、避難場所がない。

*チャンネル13の世論調査：イラン戦争支持者は75%、反対者は17%。64%のイスラエル人が戦争目的はイランの核脅威とミサイル脅威を除去することと思っている。ネタニヤフの政治的延命を図る動機だと考える人は28%。

*イランのサイバー・セキュリティ司令部：昨日、シオニスト国はイランの銀行ネットワークに対して大規模なサイバー攻撃を仕掛けてきた。

*イラン革命防衛隊：我々は長距離セイジル・ミサイルを使って、第12波攻撃をシオニスト国家に行った。集中的で持続的なミサイル攻撃で、いわば敵に地獄の門を開けたのだ。我々のミサイルはシオニストを地下シェルターに閉じ込め、何日も太陽の光を見させない。敵の空軍基地を破壊し、敵の空は我々のミサイルとドローンに開かれている。

*イスラエル軍ラジオ放送：治安当局高官はイスラエル軍ラジオに対して、イランがグシュ・ダンに向けて発射した最新のミサイルはこれまでと種類、重量において異なり、搭載爆薬の量は非常に多かった、と語った。

6月18日 10:09 pm

*アル・ジャジーラ：イラン高官はアル・ジャジーラに対して次のように述べた。もし米国がシオニストといっしょに行動すれば、ヒズボラが動くだろう。米国が直接参戦すれば、米国艦隊は前例のない脅威に直面するだろう。海上攻撃もイランの選択肢の一つとなるであろう。

*アル・ジャジーラ：米国高官はアル・ジャジーラに対して次のように述べた。トランプはイランに対してどういう決定をするか誰にも分からない。選択肢は交渉から軍事攻撃まで多岐にわたる。例えば、フォードウ核施設への攻撃は、放射能など考慮しなければならない問題があり、それに対するイランの出方も考えなければならない。イランとその同盟勢力は我々の基地や艦隊を攻撃する能力を持っている。米国が参戦すればイランと同盟勢力は米軍を攻撃するだろう。中東に展開する米軍は最大限の防護体制をとっている。ジェラルド・R・フォード空母は予定通り地中海の第6艦隊に合流する。フォード空母と第6艦隊は米軍を守り、大きな抑止力となるだろう。B-2爆撃機はまだ中東に配備されていない。イスラエルはイランのミサイルをほとんど迎撃しているが、一部は防衛網を突破してイスラエル国内に着弾している。

*イスラエル・ハヨム紙：イランとの戦争開始後初めて外国人と外交官は航空機で出国することが認められたが、イスラエル国民の場合は特別免除委員会の承認が必要である。

6月18日 8:21 pm

*アル・マヤデーオン：新しいミサイルの波がイスラエルに向かって発射された。ファッターハ・ミサイルなど新種のミサイルも加わっている。

*ファルス通信：イスラエル・メディアが最高指導者ハメネイ師の居所が分かり、攻撃標的になっていると報道したが、これは嘘だと、イラン公式筋が言っている。

*アル・ジャジーラ：イランのアッバス・アラグチ外相は、アル・ジャジーラの取材で、「我々はオマーンに交渉団を派遣していない。私が交渉団の団長としてテヘランを出たという報道があるが、まったくのデマ報道である」と語った。

*イスラエルの米大使館：駐イスラエル米大使マイク・ハッカビーは、イスラエル出国を希望する米国民の空路と海路の避難の手配をしていると言った。

*米軍：統合参謀本部議長は、イランの核施設への爆撃が核兵器生産能力を損なうことになるのかどうか、私には確信をもって断言できない。

*イランの国連ミッション：イランは強制による交渉をしないし、圧力による和平を受け入れない — とりわけ戦争を煽る者とは交渉しない。イランへの脅威には対抗的脅威で対処し、軍事攻撃には同種の軍事行動で報復する。

*チャンネル15：数日前にイランのミサイルの直撃を受けたバト・ヤムの高層住宅ビルで遺体が見つかった。当局はその遺体が行方不明のイスラエル人女性の者かどうかを調査している。

6月18日 5:55 pm

*パレスチナ・クロニクル：イランの攻撃第一波はイスラエルを心底まで震えさせたようである。これまでイスラエルはイランの自制を前提にしていたが、テヘランで民間人が殺害されたことで、イランはそういう自制を捨てたようであるからである。イスラエルはイラン現場で多くの戦術的成果を挙げているようだが、これまでにところイスラム共和国の方が軍事力の優位性を示している。米国からの絶え間ない武器と兵站支援がなければ、その戦術的成果も挙げられなかったし、イラン攻撃を続けることができなかつたであろう。ロバート・インラケシュの分析を読みたい。(Robert Inlakesh, "Why Israel's Regime Change War Could Trigger Its Own Demise," Palestine Chronicle, June 18, 2025)

*アル・アッハバール：イスラエル無人機が南レバノンのマアルーブとバリシュの間で走行中のバイクを攻撃した。

*トランプ米大統領：イランの核施設を攻撃するかもしれないし、しないかもしれない。いずれにせよ、イランはもっと早く米国と交渉するべきだった。今となっては手遅れかもしれないが、戦争を止める時間はある。イランはもう防空システムが機能しておらず、それがいつまで続くか分からない。イスラエルがイランの空を完全に支配しており、見事な成果をあげている。イランの高官が我々に連絡を取ってきたが、私はこの状況にうんざりしている。私はイランの無条件降伏を望む。今起きていることは、過去に我々がイランにとってきた措置とは無関係だ。我々は破壊で脅迫する国を容認しない。イラン人は本当に深刻な問題に直面しており、ホワイトハウスで会談したいと示唆している。我々は何年間もイランから脅威を受けてきた。来週はイランにとって決定的な週となる、いやその前の週末かもしれない。イランは我々と合意を望んでいる。

*イラン通信社：シオニスト国はイランの赤三日月社の建物を爆撃した。

*イスラエル・ハヨム紙：イスラエル・カツ国防大臣は「イスラエル軍がイラン政権の国内治安部隊の司令部を爆撃した」と言った。

6月18日 4:58 pm

*パレスチナ・クロニクル：ロシアは米国にイランに対して軍事行動をするなど警告した。そんなことをすれば中東が大きく不安定化すると述べた。

*ロイター通信：信頼すべき筋の話では、米政権はイランに関する複数の選択肢を協議している。その中にはイスラエルといっしょにイランの核施設を叩くことも含まれる。

*ファルス通信：テヘラン西のアルボルズ州カラジ市で爆発音がした。救急車と消防車が現場に駆けつけた。

*チャンネル12：英国首相府がテルアビブの英大使館員の家族が昨夜イスラエルを出国したことを確認した。

*イスラエル検閲機関：イスラエルの首席検察官は「国家の安全を守る新緊急命令」に署名した。この命令は国の安全を損ない、敵にメッセージを送り、国民を扇動し、あるいは国の士気を低下させる可能性がある出版物やSNSを禁止する。

6月18日 4:30 pm

*パレスチナ・クロニクル：昨日、ユーロ地中海人権モニターは、「ガザ人道財団」(GHF)が、ガザ回廊中部と北部の援助物資配給センター付近で飢えたパレスチナ民間人へのイスラエルの犯罪的行為に、「直接責任」があると述べた。

6月18日 4:25 pm

*パレスチナ・クロニクル：イランはファッターハ超音速ミサイルを発射、イスラエルはジェット機でイランを爆撃。両者はこれまでで最も激しい攻撃を交わした。

*ジューイッシュ・インサイダー：米下院の45人の超党派議員がトランプ大統領とルビオ国務長官に米国民をイスラエルから避難させよと要望した。

*イスラエル・メディア：今日朝からイスラエル空軍はイスラエル北部でイランが発射したドローン9機を迎撃した。

*フィナンシャル・タイムズ：大手保険グループのマーシュ・アンド・マクレナンによれば、戦争開始以来ホルムズ海峡を通る船の保険料は60%以上も上昇した。

6月18日 4:09 pm

*パレスチナ・クロニクル：飢餓と強制退去が続く中、イスラエル軍は民間人を標的にした攻撃を激化し、47人—14人の救助活動員を含む一を殺害した。

6月18日 4:01 pm

*アリー・ハメネイ師：米国の参戦はシオニスト国家の弱さと無力さの印だ。米国の参戦は自らの利益に反し、イラン以上に自らを傷つけることになる。米大統領はイラン人民に降伏せよと言った。しかし、その言葉はイラン人民を恐れる者たちに向けるべきだ。その邪悪な敵に対してイラン人民とイラン軍が与える処罰で、敵はすでに弱くなった。

*イスラエル・メディア：イスラエル軍は現在テヘラン東部を攻撃している。

*イラン・メディア：テヘラン東部で爆発音が聞こえる。

*イラン警察：アルボルズ州警察は1台のトラックを止めて、徘徊型小型ドローン数機を押収し、容疑者を逮捕した。

*イスラエル国防相：私は軍と民間防衛隊の防衛のための規制を緩和せよという勧告を受け入れた。イスラエル経済の活動は徐々に再開されるであろう。

*ロイター通信：スペインのイベリア航空の社長は、テルアビブ行きフライトの運休を10月末まで延長すると発表した。

*ロシア外務省：ロシアの外相は「イスラエルは毎日イランの核施設を攻撃しており、我々は恐ろしい核災害を被る可能性がある」と言った。また、セルゲイ・リャブコフ外務次官は、米国のイスラエルへの軍事支援、あるいはそのような支援の検討も、中東を著しく不安定化するだろうと、述べた。

*ロイター通信：ドイツ国防相は、ドイツ政府がイランに交渉テーブルに戻るのはまだ手遅れではないと伝えたことを明らかにした。ドイツ外相は中東の軍事的エスカレーションは他の諸国を戦争に巻き込むことになるかと警告した。

6月18日 2:44 pm

*ファルス通信：テヘラン南東部のバハレスターンでイスラエルのモサド工作員二人を、破壊工作を計画している現場を押さえて、逮捕した。

*ロシア外務省：ロシアの外務次官は、米国のイスラエルへの軍事援助は中東の重大な不安定を招くと言った。ロシア外務省は米国のイスラエルへの軍事支援やその検討しないように警告し、ロシアはイランとイスラエルと連絡を取れているので、紛争に関して仲介してもよいと言った。

*アリー・ホメネイ師：シオニスト国家は重大な過ちを犯し、その結果に直面するだろう。イランは領空侵犯とイラン国民が流した血を忘れないだろう。イラン軍は兵士と人民に支えられて祖国を守る。米政府は我々が降伏しないことと、米国のイラン攻撃をすれば取り返しがつかない結果を招くことを、知るべきだ。イラン人民は強制された戦争には断固とした態度で立ち向かっている。イラン人民はいかなる和平の押し付けや外国の命令に屈することはない。イラン人民を脅迫できないことを、西側は理解すべきだ。

*アナドル通信社（エルドアン大統領を引用）：核交渉が行われているときに攻撃を受けたイランには、正当な自衛権がある。我々はイスラエルのガザ、シリア、レバノン、イエメン、イランへの侵略を止めるために全力を尽くしており、今後もそれを続ける。イランを含む地域の国々はこの状況から学び、イスラエルの侵略にいかに対応するかを真剣に考えなければならない。

*ロイター通信：国際原子力機関によると、イスラエルは遠心分離機生産用部品を製造する2施設を爆撃した。

*ロイター通信：英国政府はテルアビブとエルサレムの大使館と領事館の職員の家族を一時的に避難させている。大使館と領事館は業務を続け、英国国民に必要なサービスを提供している。

*イスラエル軍ラジオ放送（エネルギー担当大臣を引用）：イスラエルはエネルギー施設の損傷に備えている。エネルギー部門は通常どおり稼働している。ガス輸出は一時的に停止していたが、数時間か数日間以内に再開されるだろう。

*ISNA（イラン学生通信社）：イラン諜報部隊がテヘランのノワブ地区で127キログラムの爆発物を押収した。

6月18日 12:09 pm

*アル・ジャジーラ：今朝イスラエルのガザ市砲撃のため、アル・クッズ病院に4人の遺体と54人以上の負傷者が運び込まれた。

*アル・ジャジーラ：アル・アウダ病院の報告によれば、ガザ回廊中部のネツァリム回廊付近の援助物資配給所で物資配給を待っていた人々がイスラエル軍に襲撃され、11人が死亡し、70人以上が負傷した。

*アル・ジャジーラ：医療筋の報告では、今日明け方からのイスラエルの攻撃で30人のパレスチナ人が死亡し、そのうち11人は米国の援助物資配給センターで殺害された人である。

*アル・ジャジーラ：イラン外務省の報道官エスマイル・バガエイは次のように述べた。「我々はイスラエルによる不法な攻撃を受けている。我々は露骨な侵略から自衛している。住宅地や病院がイスラエルの攻撃を受けている。数百人が殺害された。イスラエルは核施設を標的に攻撃している。我々は世界の国々と連絡を取り、安保理事会に責任を果たすように要求した。安保理は一部の加盟国の不適切な姿勢のために機能していない。イスラエルの侵略は国際平和と安全の侵害である。何処の国にせよ我々を攻撃すれば、我々の反撃を受けるだろう。我々は自衛する。米国との交渉はイスラエルの侵略で停止した。イスラエルは米国の承認がなかったら侵略をしなかったであろう。我々は外交路線を歩んでいたが、米国の支援でイスラエルが戦争を始めた。国際社会は危険な結果をもたらす戦争に対処できないであろう。」

*イスラエル軍：イスラエル軍はイラン領内でイスラエルの無人機が撃墜されたことを認めたが、情報漏れの心配はないと言った。

*イスラエル国民保険：イランのミサイル攻撃で5,000人のイスラエル人が自宅から避難した。イランのミサイルによる被害に対する補償請求が22,932件出ている。

*ガーディアン紙：イスラエル軍司令官によれば、イスラエルのイラン攻撃は開発計画に大きな影響を与えなかった。最初の攻撃はイランの核兵器製造能力を数か月遅らせただけである。

*ファルス通信：昨日撃ち落とされたイスラエル無人機の残骸がハメダン西部でみつかった。セムナン州の治安機関副官はシャフルード市上空で敵の数機が撃墜されたのを確認した。

*ロイター通信：イスラエル軍は、テヘラン周辺地域に対する新たな攻撃を開始したと発表した。また、本日朝にイランから発射された7機のドローンを撃墜したと述べた。

*イランのヌール・ニュース：マルカズィ州ザランディエ郡でイラン革命防衛隊は数人のモサド工作員を逮捕した。

*メフル通信：イランの原子力機構の代表は核施設は良好な状態だと言った。

*中国外務省：中国はイスラエル内の中国人700人を安全な場所へ移住させた。さらに1,000人以上の中国人がイランとイスラエルから避難している。

*IRIB（イラン・イスラム共和国放送）：イラン国営TVはエスファハーン上空でイスラエル無人機が撃墜されたと報じた。エスファハーンは、ナタンズ核施設、遠心分離工場、複数の空軍基地、革命防衛隊ドローン基地など、核施設と軍事施設があるハブ地域である。

*ロイター通信：ジュネーブの国連へのイラン大使は次のように語った。「イスラエルは警告なしでイランの民間人地域を攻撃している。イスラエルは理由も告げずに我々を攻撃した。我々は躊躇なく国民、安全、領土を防衛するために、全力で真剣に対応する。米国のごり押しでイスラエルは何らの罰を受けることなく侵略行為を繰り返し、ヨーロッパはそれを正当化している。我々のイスラエルへの対応は彼らの攻撃に相応するもので、国際法の範囲内で行う。」

*チャンネル12：ゴラン高原上空でドローン2機が撃墜された。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の報告では、ハーン・ユーニス東のバニ・スヘイラへのイスラエル無人機の攻撃で負傷者が出た。

*イラン革命防衛隊：ザンジャン州アバールのザイン・アル・ディン基地へのイスラエルの爆撃では物的・人的損失はなかった。

*タス通信：ロシア大使は、ロシア大使館を安全のためにテルアビブから移転する避難を行っていると言った。

*イスラエル民間防衛隊：ドローン侵入の不安がさらに高まり、ゴラン高原南部で再び警報が鳴った。

*イラン警察：イラン当局の発表によれば、ドローン14機が撃ち落とされた。テヘラン、エスファハーン、アルボルズで複数の爆発装置製造所が発見され、容疑者が逮捕された。

6月18日 8:56am

*IAEA 声明：国際原子力機関のラファエル・グロッシ事務局長は、CNN に対し、イランには核兵器開発の組織的取り組みをしたという証拠がないと、断言した。

6月18日 8:54am

*ファルス通信：ホッラマーバード、ボルジェルド、ドルードの都市でモサドの指示で破壊活動を行おうとしていた5人が逮捕された。

6月18日 8:52am

*パレスチナ・メディア：アハリ・バプティスト病院の報告によれば、ガザ市南東部のザイトゥーン地区の住宅へのイスラエルの空爆で、8人の人が死亡し、他に多数が負傷した。

*イスラエル・メディア（保健省を引用）：昨晚、イランのミサイル攻撃で94人の負傷者が病院へ運び込まれた。

*イラン・メディア：テヘラン南東にあるヴァラミン市の職員は、イラン防空システムがジャヴァド・アバド地区でイスラエルのF35戦闘機を破壊したと述べた。

*メフル通信：テヘラン南のレイ市で治安部隊とイスラエル諜報機関とつながっていると思われる勢力の間で戦闘があった。

*メフル通信：テヘランの人口密集地でテロ活動を計画していた一団の動きを阻止した。

6月18日 8:49am

*ロイター通信：イスラエル軍は、昨晚テヘランの遠心分離機製造所といくつかの兵器製造所を攻撃したと、発表した。また、イスラエル軍は地対地ミサイルの部品や戦闘用備品製作所を攻撃したと主張した。さらに、過去数時間にわたりテヘラン周辺で50機の戦闘機が空爆を実施したと述べた。

6月18日 6:50am

*イスラエルのガザ攻撃：イスラエル軍によるガザ回廊各地での一連の攻撃によって、多数の犠牲者が発生し、避難みや支援を待つ人々も被害を受けている。ナセル総合病院の報告では、ハーン・ユニス西のマワシ地区の避難民テントへのイスラエル軍の攻撃で、5人の人が死亡し、他に多数が負傷した。同じことを地元のパレスチナ・ニュースが伝えた。アル・アウダ病院の報告では、ネツァリム回廊近くで援助物資配給を待っていた人々が攻撃され、10人が死亡し、70人が負傷した。アル・アクサ殉教者病院の報告では、ガザ回廊中部のマガシ難民キャンプの一軒の家へのイスラエルの空爆で、6人が死亡し、数人が負傷した。

6月18日 6:46am

*ウォールストリート・ジャーナル：トランプ大統領と国家安全保障チームとの会談では、イラン攻撃に関する決定はされなかった。イラン攻撃はこの会談で協議された一つの選択肢にすぎなかった。

6月18日 4:52am

*アル・マヤデーーン：特派員がテヘランの北東部で爆発音を聞いた。

6月18日 4:50am

*アル・ジャジーラ（エコノミストとユーガブの世論調査を引用）：イランとイスラエルの戦争への米国の軍事的介入に反対する米国人は60%。介入に賛成する人は16%。56%の米国人は交渉を支持。

6月18日 4:48am

*チャンネル15：数日前にイランのミサイルで攻撃されたバト・ヤムの高層住宅ビルで遺体が見つかった。当局は遺体が行方不明の女性のものかどうかを調査している。

*パレスチナ・メディア：ガザ回廊中部のサラフ・アッディンで援助物資の配給を待っていた人々への占領軍の銃撃で、死亡者の数は10人となったと地元の報告。

6月18日 3:03am

*イラン革命防衛隊の声明：我々は「真実の約束3作戦」第11波で、ファッターハ・ミサイル第一世代を使った。我々の作戦はシオニスト軍の防空神話の終わりが始まったことを象徴している。

6月18日 2:38am

*ハマス声明：我々は米国の脅迫を非難し、国際法の明確な違反であるシオニストのイランへの侵略の継続を拒否する。我々は米国がイラン攻撃に直接参加する危険を警告し、その結果にはイスラエルと米国に責任があると見做す。

*パレスチナ・メディア：サラフ・アッディン通りで援助物資を待つ人々への占領軍の銃撃で多数の死傷者が出た。

6月18日 2:35am

*イラン革命防衛隊声明：革命隊はイスラエル民間人にテルアビブのツェデク地区からの避難を呼びかけた。これはイスラエルがテヘラン中心部の18番広場からの避難をイラン人に命令したことを受けてのことである。

6月18日 2:34am

*イラン・メディア：マシュハド市上空のイスラエル機にイラン防空システムが対応している。テヘランのピルージ、サバラン、サイヤド地区で爆発音がした。

*米国務省声明：米国務省はエルサレムの米大使館を18日から20日まで閉鎖すると発表した。

*イスラエル・メディア：ドローン侵入を警戒して死海地域で警報が鳴っている。

6月18日 1:37am

*ファルス通信：報告によれば、イラン軍はイスラエル北部のメロン空軍基地をミサイル攻撃した。

*イスラエル・メディア：イスラエル民間防衛隊はイランから新たにロケット群がイスラエル中部に向かって発射されたのを検知したと伝えた。

*イラン民間航空局：イラン空域の閉鎖と飛行停止を今日午後2時まで延長した。

*チャンネル12：迎撃ミサイルの破片の落下で、イスラエル南部と中部の複数の場所で火災が発生した。また、イスラエル中部でビル1棟がイランのロケットの直撃を受けた。

6月18日 1:21am

*アル・マヤデーーン：爆発の轟音がイスラエルの北部から南部までを揺るがした。中部ではミサイルの直撃を受けて火災が発生した。

*カン：イスラエル中部の各地にロケットが着弾したという速報を出した。

*CBS ニュース：情報筋によると、イランへの対応に関して、トランプ大統領側近の間では一致した意見はないという。

*ハマス：我々は米国の脅迫を非難し、国際法の明確な違反であるシオニストのイランへの侵略の継続を拒否する。我々は米国がイラン攻撃に直接参加する危険を警告し、その結果にはイスラエルと米国に責任があると見做す。

CNN：イスラエルの高官がCNNに対し、イスラエルはトランプ大統領が戦争への直接参加を決定するかどうかを待っている状態だと述べた。

*ヌール・ニュース：イラン防空システムで戦闘機を撃ち落とされてパラシュートで脱出して逮捕されたパイロットの告白を、後ほどヌール・ニュースが発表する。

6月18日 12:24am

*パレスチナ・メディア：西岸地区ジェニンの北東にあるファクア村のアパルトヘイト壁（分離壁）近くで、メタルンの町のパレスチナ人若者が占領軍の発砲で死亡した。